

## キャリア・パスポートの活用について

キャリア教育では、生徒自身が、立場に立った経験の中で変わってきた自分の「能力」や「価値観」を感じる事が大切です。

そのため、様々な活動の場面で、自分の変容を振り返るための記録が必要です。これまでも行事や活動の事後指導としてワークシート等を記してきましたが、キャリア発達の一貫した観点で、「経験の積み重ね」を見取ることができるようにすることが求められます。

本校では、生徒が大切にしている行事（価値付けのある活動）や課題解決を行っていく活動（問題意識のある活動）をキャリア発達的手段として取り扱っています。それらの活動の記録をポートフォリオ形式でファイリングし、累積した記録を比較することで、見方や考え方の変化を生徒が自覚し、共感力、思考力、段取力、対応力等の伸長によって、自己肯定感を高めさせていきたいと考えています。

また、ポートフォリオ形式でファイリングされた「キャリア・パスポート」を活動ごと、学期ごと、学年ごとに振り返り、客観的な評価につなげていきます。

### <本校でのキャリア教育で伸ばしたい資質・能力>

#### ① 共感力

（他者の立場に立って、相手の心情や考え方を感知することができる能力）

#### ② 思考力

（課題や状況を把握し、要因を分析し、解決の手段・方法を吟味する能力）

#### ③ 段取力

（スケジュールを把握し、優先順位、人員の配置・分担を判断する能力）

#### ④ 対応力

（取組を円滑に進めるためのコミュニケーション能力【伝え方】や

状況に応じて段取りを変更・調整する能力）